



小城市 ため池ハザードマップ

【保存版】

上の堤、深佐古ため池



上の堤ため池全景



上の堤ため池下流域



深佐古ため池全景



深佐古ため池下流域

令和2年3月作成



ため池ハザードマップに関するお問い合わせは
小城市役所 農村整備課 TEL:0952-37-6127

ため池
決壊想定
イメージ

- 1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水
・・・亀裂や堤防前面の滑落など
- 2 大雨等でため池の水位低下が困難
・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など

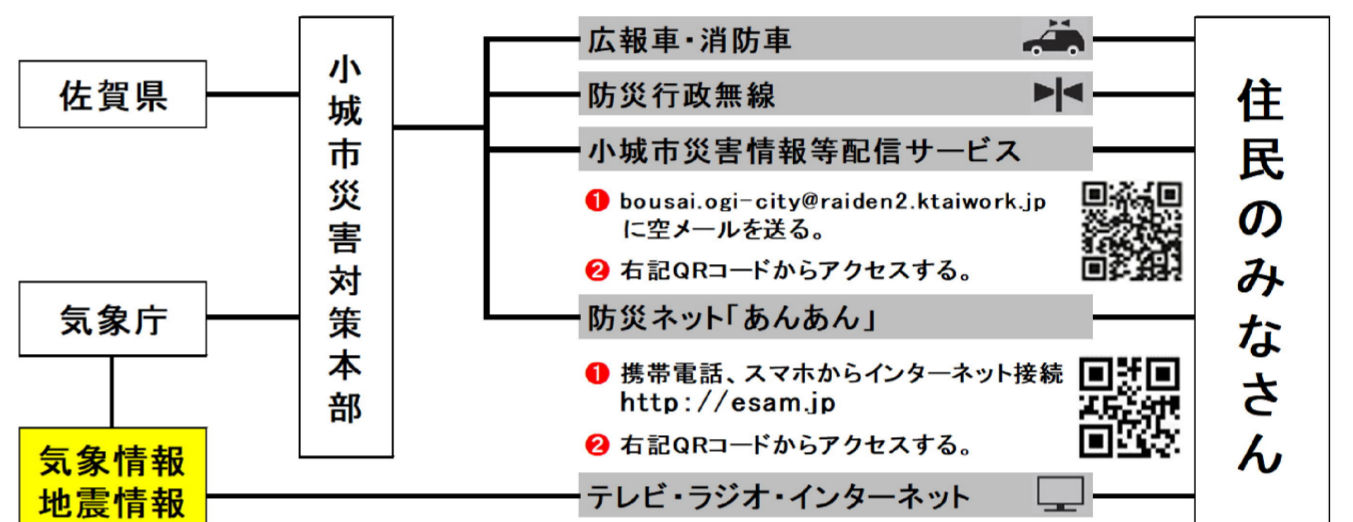
決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

高台に避難してください！

市からの避難情報に注意しよう

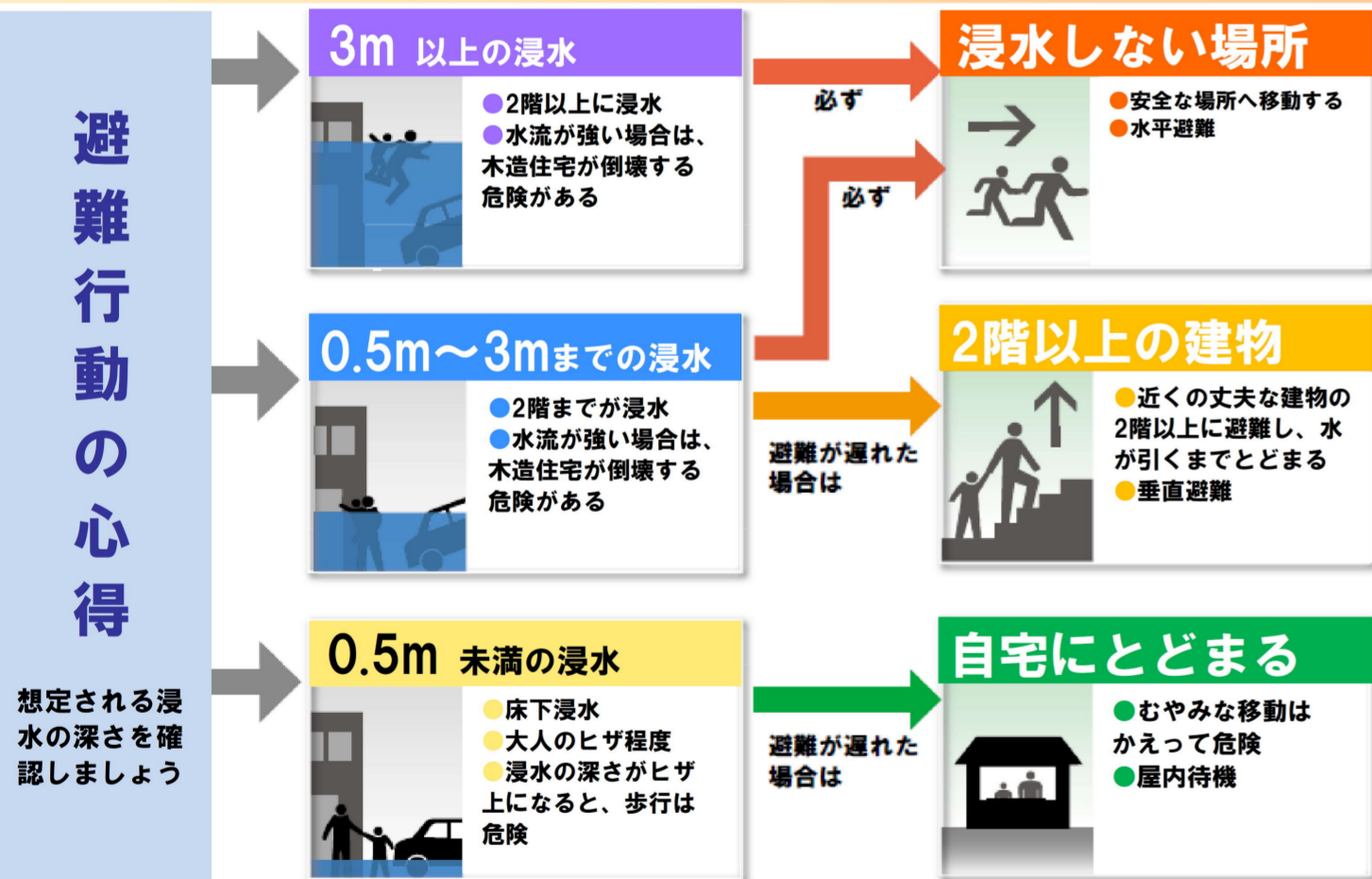
警戒レベル	住民が取るべき行動	避難情報等
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報※1(市が発令) ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所などに避難しましょう。	避難勧告、避難指示(緊急)※2(市が発令) ※2 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令
警戒レベル3	ご高齢の方、障害のある方、乳幼児などは避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(市が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報、大雨注意報など(気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁が発令)

●避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



※「防災ネットあんあん」とは
佐賀県では、県民の皆さんの安全・安心を確保する一助として、携帯電話等のメール機能を使った情報配信システム「防災ネットあんあん」を運用しています。是非ご登録ください。

避難勧告等がだされたら速やかに避難しよう



～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください

- 動きやすい服装で。
- 荷物は最小限。
- 足元に注意。

- 避難は徒歩で。
- 指示に従いましょう。

地震のあと

被災状況(防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電等)により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に事態に対応しましょう。

**災害発生時の避難情報
入手における注意点**

大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線・広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

地域防災力の向上に向けて

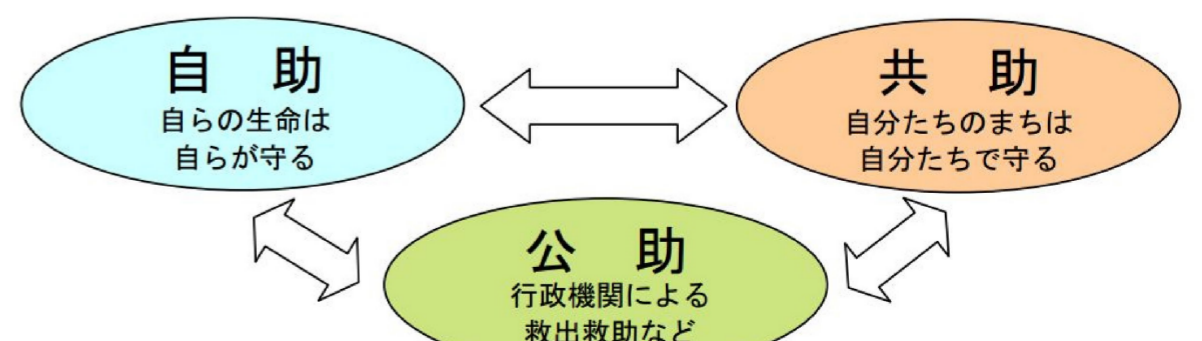
災害(大雨、洪水、地震)は必ず発生します。もしかすると、明日発生するかもしれません。将来予想される大規模な災害に対応するためには、自助・共助・公助の取り組みとともに、地域の防災力を向上させていくことが重要です。

「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」

1. **災害を知る**
「どれくらいの規模で、どのような災害の発生が予想されるか」
2. **まちを知る**
「災害時に安全な場所、危険な場所はどこにあるのか」
「何かあった場合にお世話になる場所や施設はどこにあるのか」
3. **人を知る**
「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか」
「近所に手助けが必要な人はいないか」

「自助」「共助」「公助」

1. **自助**
「自らの安全は、自らが守る」これが、防災の基本です。
2. **共助**
近所の人たちと協力して、お互いに助け合うこと。
3. **公助**
市役所・警察・消防といった行政機関が取り組むこと。



それぞれが、災害対応力を高め、連携することが重要

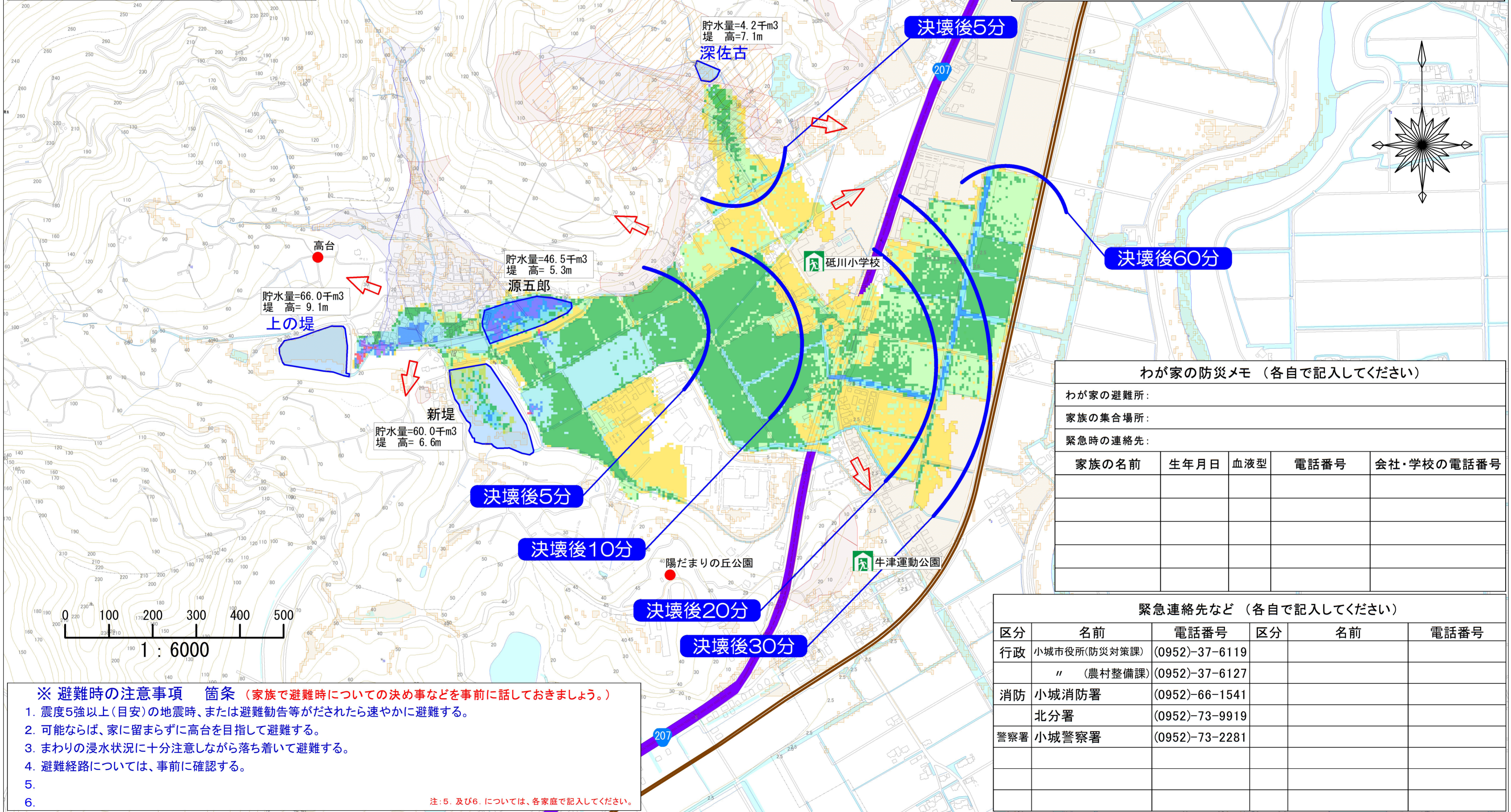
**地域防災力を高めることが、災害に強い地域を作る事に
つながり、一人でも多くの命を救うことにつながります。**

【保存版】

ハザードマップ

上の堤、深佐古ため池

このマップは、大規模地震などにより、ため池が決壊した場合にどのような被害となるか知るために、ため池すべての貯水量が流出する状況を想定しています。このマップは、浸水の深さを色で示しています。表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



浸水深の目安

5.0m以上 屋根まで浸水
3.0m~5.0m 2階以上が浸水
2.0m~3.0m 1階以上が浸水
1.0m~2.0m 大人の頭まで
0.5m~1.0m 大人の腰まで
0.2m~0.5m 床下浸水
0.2m未満

凡例

- 小城市指定避難所
- 避難場所(一時)
- 避難方向(※4参照)
- 決壊後到達予想時間
- 大雨時浸水注意区域
- 土石流危険渓流
- 急傾斜崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所

わが家の防災メモ (各自で記入してください)

わが家の避難所:
 家族の集合場所:
 緊急時の連絡先:

家族の名前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校の電話番号

緊急連絡先など (各自で記入してください)

区分	名前	電話番号	区分	名前	電話番号
行政	小城市役所(防災対策課)	(0952)-37-6119			
	" (農村整備課)	(0952)-37-6127			
消防	小城消防署	(0952)-66-1541			
	北分署	(0952)-73-9919			
警察署	小城警察署	(0952)-73-2281			

- ### ※ 避難時の注意事項 箇条 (家族で避難時についての決め事などを事前に話しておきましょう。)
- 震度5強以上(目安)の地震時、または避難勧告等がなされたら速やかに避難する。
 - 可能ならば、家に留まらずに高台を目指して避難する。
 - まわりの浸水状況に十分注意しながら落ち着いて避難する。
 - 避難経路については、事前に確認する。
 -
 -
- 注: 5. 及び6. については、各家庭で記入してください。